

令和4年度 病院事業局当初予算要求事項

病院事業局

今後の医療需要の増大・高度化を見据えた社会保障制度改革等の環境変化に適切に対応していくとともに、厳しい医療環境の下でも県立病院としての役割を果たしていくための医療機能の強化、経営基盤の強化に取り組む予算案を策定。

1 当初予算要求総括表

(1) 病院事業会計

(単位：千円，%)

区分	令和3年度 当初予算額 ①	令和4年度 当初要求額 ②	比較		備考	
			②-①	②/①		
病院事業収益 a (b+c+d)	28,572,148	28,181,480	▲390,668	98.6		
内 訳	医業収益 b	23,084,919	24,119,476	1,034,557	104.5	
	うち入院収益	15,764,655	16,108,974	344,319	102.2	診療単価の増
	うち外来収益	6,634,949	7,349,205	714,256	110.8	患者数の増
	医業外収益 c	5,457,229	4,032,004	▲1,425,225	73.9	処遇改善事業補助金 32,734 含む ^{※1}
	特別利益 d	30,000	30,000	0	100.0	
病院事業費用 e (f+g+h)	27,224,154	28,159,159	935,005	103.4		
内 訳	医業費用 f	26,708,016	27,649,123	941,107	103.5	処遇改善事業 24,550 含む ^{※2}
	医業外費用 g	461,295	457,986	▲3,309	99.3	企業債等利息 ▲41,628
	特別損失 h	54,843	52,050	▲2,793	94.9	
医業収支 (b-f)	▲3,623,097	▲3,529,647	93,450	97.4		
医業外収支 (c-g)	4,995,934	3,574,018	▲1,421,916	71.5		
経常収支 (b+c) - (f+g)	1,372,837	44,371	▲1,328,466	3.2		
収支差 (a-e)	1,347,994	22,321	▲1,325,673	1.7		

資本的 収支	資本的収入 i	2,935,931	1,915,141	▲1,020,790	65.2	企業債 ▲899,600
	資本的支出 j	4,694,401	3,449,674	▲1,244,727	73.5	
	うち 建設改良費	2,099,841	1,206,663	▲893,178	57.5	
収支差 (i-j)	▲1,758,470	▲1,534,533	223,937	87.3		

支出予算額 計 (e+j)	31,918,555	31,608,833	▲309,722	99.0	広島：29,028,350 安芸津：2,580,483
------------------	------------	------------	----------	------	--------------------------------

※1 令和4年2～9月分

※2 令和4年4～9月分 (令和4年2～3月分 (8,184千円) については、令和3年度2月補正予算の医業費用に計上)

(2) 一般会計

(単位：千円，%)

区分	令和3年度 当初予算額 ①	令和4年度 当初要求額 ②	比較		備考
			②-①	②/①	
衛生費	2,435,150	2,468,999	33,849	101.4	
病院事業会計への 繰出金	2,435,150	2,468,999	33,849	101.4	

査定結果

要求どおり

2 取組状況と令和4年度計画

(1) 広島病院の取組状況等

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対応のため、重点医療機関として主に入院加療が必要な中等症以上の患者を積極的に受け入れる一方で、脳心臓血管センター、呼吸器センター、消化器センターなど専門医療センターによる高度医療の強化に取り組んでいる。また、ドクターカーの運用や、内科救急診療部の設置による救急患者受け入れの迅速化、防災設備の改修、災害特別支援センターの設置など災害・救急医療への対応強化に継続して取り組んでいる。

しかしながら、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受診患者数が感染症流行前の状態に回復していないことから、医業収支は厳しい状況となっている。

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対応を行いながら、救急医療の強化、地域連携の強化、がんゲノム医療の推進など高度医療の強化に取り組むとともに、経費の節減など収支改善にも取り組んでいく。

① 令和3年度の主な成果及び令和4年度の主な取組

<患者受入体制の強化>

項目	令和3年度の主な成果及び令和4年度の主な取組
救急医療の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○救急車応需率向上に向けた取組 (H28.8～継続) <ul style="list-style-type: none"> ・院内の救急部会での救急患者受入要請の不应需事例の検証 救急車応需率 (R2 80.3% R3 見込 78.6%) 救急車・ヘリ受入件数 (R2 5,736件 R3 見込 6,310件) ○救命救急センター (ICU・HCU) 等の効果的な活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ICU・HCUへの救急患者、院内術後重症患者等の受入れ ・内科救急診療部における内科疾患の救急紹介・救急患者 (原則救急車限定) に対する窓口の一本化による患者の受け入れの迅速化・効率化の継続実施 (H31.4～) ○ドクターカーの運用 (H30.7～平日日中で運用) <ul style="list-style-type: none"> ・ドクターカーで救命救急センター医師等が救急現場へ急行、処置することにより、救急患者の治療成績向上や救急隊の病院選定の負担軽減 (受入困難事例の減少と搬送病院選定の時間短縮) を図る。 ドクターカー出動件数 (R2 282件 (うち広島病院受入件数 159件) R3 見込 216件)
がん医療を含めた高度医療の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○呼吸器・消化器センターの機能の充実 (H29.4～継続) <ul style="list-style-type: none"> ・複数診療科の連携による専門センターの設置運用 (肺、消化管等の悪性腫瘍の受入強化) 新規入院患者数 (呼吸器センター R2 1,575人 R3 見込 1,758人) (消化器センター R2 2,390人 R3 見込 2,304人) ○がん遺伝子診療機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・がんゲノム医療中核拠点病院と連携して検査等を行なう「がんゲノム医療連携病院」の指定 (H30.3) を受け、遺伝子情報に関する検査を実施 (H30.7～) 遺伝カウンセリング (R2 54件 R3 見込 84件) ※健康保険対象分 がん遺伝子パネル検査 (R2 55件 R3 見込 65件) ※健康保険対象分 ・がんゲノム診療科の設置によるがんゲノム医療提供体制の強化 (R4 予定) ○医療機器の導入、更新による高度医療の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んでいる高精度放射線治療システム (リニアック) の更新により、がん診療連携拠点病院として、放射線治療に係る診療機能を維持、強化 (R4 完成予定) ・手術支援ロボットの新規導入による手術の高度化及び安全性の向上 (R3.9 導入) ○循環器病対策推進への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・脳心臓血管センターにおいて、県において策定予定の「広島県循環器病対策推進計画」に示される施策を推進し、当該施策の取組指標の達成へ向け取り組む。
地域医療連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○地域完結型医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器センター、消化器センターの他の医療機関等への積極的なPR ・かかりつけ医との連携強化 (逆紹介の推進) 紹介率 (R2 88.1% R3 見込 90.1%) 逆紹介率 (R2 120.7% R3 見込 118.0%)
新型コロナウイルス感染症への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症重点医療機関として県内最大数の病床を確保し、重症を含む中等症以上の患者を中心とした入院患者の受け入れを積極的に実施 (R2 延4,005人 (うち中等症以上 1,719人) R3.4～11 延4,787人 (うち中等症以上 2,663人))

<医療の質と患者満足度の向上>

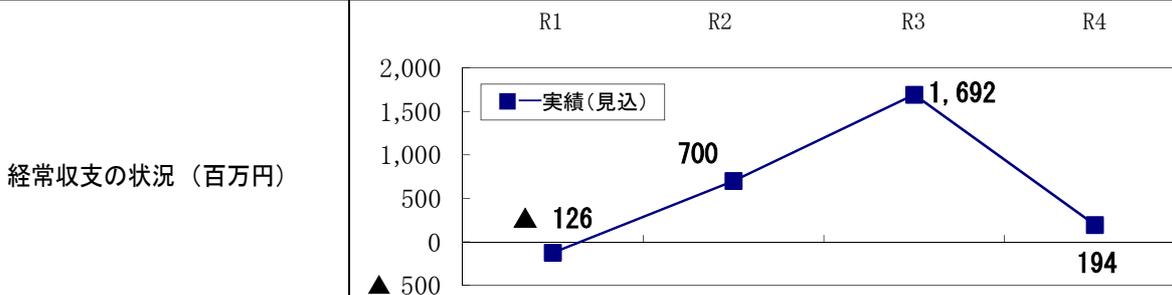
医療の質と患者満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○チーム医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・患者が抱える課題に対し、多種の医療職種からなるチームを編成し、それぞれの専門知識を活用して医療の質（早期回復、早期退院など）の向上を目指す。また、担当する専門・認定看護師など医療職を育成する。 ・栄養サポートチーム ・褥瘡対策チーム ・糖尿病チーム ・口腔ケアチーム ・摂食嚥下チーム ・認知症ケアチーム ・精神科リエゾンチーム ・周術期管理チーム（R4 新設予定） ○業務改善活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・午後外来の推進などによる患者待ち時間の短縮 ・TQM活動、5S活動の推進 ・患者満足度アンケート（満足割合）（外来全体）R2 96.5%（外来待ち時間）R2 71.9% ○ジェネリック薬品の導入促進による患者医療費負担の軽減 ○周術期管理センター（仮称）の設置（R4 新設予定） <ul style="list-style-type: none"> ・入院関連業務を集約した患者総合支援センターによる患者、家族の入退院に関する相談等のワンストップ支援を継続することに加え、新たに周術期管理センター（仮称）を併設し、手術患者の課題について入院前から多職種で支援することにより、術後の早期回復・退院を目指す。 ○療養環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・有料個室の改修・調度品の整備
---------------	--

<収支改善への取組>

項 目	令和3年度の主な成果及び令和4年度の主な取組
増収対策の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> ○診療報酬算定適正化への継続的な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・DPC機能評価係数の向上と、入院収益改善を図ることを目的とした「入院期間適正化PT」において、診療科別の入院期間の適正化を継続実施(H31.4~)
材料費、経費等の費用の節減	<ul style="list-style-type: none"> ○材料の標準化・統一化等 <ul style="list-style-type: none"> ・薬品も含め、材料の標準化・統一化を図るとともに、全国価格データによる値引き交渉や、共同購入を引き続き実施

② 経営状況（経営目標）

業務の状況		R2 (実績)	(A)R3 (当初)	(B)R3 (見込)	(C)R4 (当初)	比較	
						C-A	C-B
患者数(人)	入院延患者数	176,276	178,968	178,968	172,823	▲6,145	▲6,145
	病床稼働率	78.9%	78.3%	78.3%	75.6%	▲2.7p	▲2.7p
	外来延患者数	242,171	242,760	242,760	261,315	+18,555	+18,555
入院単価(円)		84,230	83,029	83,029	87,883	+4,854	+4,854
外来単価(円)		25,078	25,483	25,483	26,311	+828	+828
経常収益		25,190	26,716	26,716	26,106	▲610	▲610
経常費用		24,490	25,079	25,024	25,912	+833	+888
経常収支		700	1,637	1,692	194	▲1,443	▲1,498



(2) 安芸津病院の取組状況等

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症への対応として、ワクチンの接種や発熱外来の設置、入院患者の受入などを行っている。

また、新たな専門外来やアウトリーチクリニックを継続し、増収対策の取組強化を図るとともに、耐震化対応への取組も進めている。

令和4年度は、引き続き予防医療を推進するほか、地域包括ケア病床を増床し地域包括ケア体制を一層充実・強化させるとともに、収支の改善に取り組んでいく。

また、耐震化対応の具体化を進めていく。

① 令和3年度の主な成果及び令和4年度の主な取組

<危機管理対応・医療機能の強化（患者受入体制の強化）>

項 目	令和3年度の主な成果及び令和4年度の主な取組
災害対策の強化	○耐震化対応に向けた検討 ・旧棟の耐震化対応に向けた検討を開始（R1.9～） ・耐震化対応の具体化に係る構想・計画を策定（R3～4）
予防医療の推進	○人間ドック・がん検診の件数増に向けた取組 ・医療公開講座、地域イベント、地元企業や行政機関への訪問による健診受診促進 健診受診者数（R2 1,172人 R3 見込 1,218人） 内視鏡件数（R2 1,505件 R3 見込 1,476件）
地域との連携 （地域包括ケアの推進）	○介護施設等との連携強化 ・新型コロナウイルス感染症の流行により開催が困難となっていたケアマネージャーを有する町内の全介護保険施設が参加する協議会である「あきつのと」を再開し、地域の介護施設等との連携強化を図ることで、地域包括ケアシステムの質の向上に貢献する（R4） ・認定看護師による他病院や介護施設等への感染症予防対策や認知症対策等の指導を実施し、地域の医療・介護機能を向上 訪問看護実施数（R2 2,044 枠 R3 見込 2,105 枠） ○地域包括ケア病床（急性期後のリハビリ、在宅復帰に向けた支援）の拡充（H29.4～） ・長期入院ニーズに対応し、平成29年度に21床から29床に8床増床、令和4年度以降、更なる増床を予定 地域包括ケア病床稼働率（R2 89.7% R3 見込 58.1%※） ※新型コロナウイルス感染症患者の受入期間中、地域包括ケア病床を閉鎖している
新型コロナウイルス感染症への対応	○新型コロナウイルス感染症への対応 ・個別接種医療機関として、地域住民に対しワクチン接種を実施 ・発熱などの症状がある患者の診療を行う発熱外来を設置 ・新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関として入院患者の受入を実施（R3.4～11 延175人）

<医療の質と患者満足度の向上>

医療の質と患者満足度の向上	○TQM活動や5S活動の推進 ・広島病院の改善推進部と連携し、TQM活動、5S活動の推進 ○ジェネリック薬品の導入促進による患者医療費負担の軽減 ジェネリック使用数量割合（R2 90.8% R3 見込 88.1%） ○認知症への対応力向上 ・認知症を患う入院患者への対応力向上のため、精神科医による診療援助を開始（R3.11～）
---------------	---

<収支改善の取組>

増収対策の取組強化	○訪問診療の取組の継続等による診療報酬の取得の継続 ・地域包括ケア入院医療管理料1（H30.7～） ○看護体制の強化による加算の継続 ・看護職員配置加算（H30.5～）、看護職員夜間配置加算（H30.5～） 急性期看護補助体制加算（H30.4～） ○新たな外来の取組 ・外科の専門外来として、「乳腺専門外来」を新たに開始（R3.4～）
材料費・経費等の費用節減	○薬品費の節減 ・使用薬品を広島病院と共通化し、両病院共同で購入価格の適正化を推進 共通化品目割合（R2 97.5% R3 見込 97.5%）

② 経営状況（経営目標）

業務の状況		R2 (実績)	(A)R3 (当初)	(B)R3 (見込)	(C)R4 (当初)	比較											
						C-A	C-B										
患者数(人)	入院延患者数	26,608	26,340	26,340	26,789	+449	+449										
	病床稼働率	74.4%	73.6%	73.6%	74.9%	+1.3p	+1.3p										
	外来延患者数	53,207	53,736	53,736	56,505	+2,769	+2,769										
入院単価(円)		34,356	34,363	34,363	34,368	+5	+5										
外来単価(円)		8,485	8,350	8,350	8,386	+36	+36										
経常収益		1,919	1,826	1,828	2,045	+219	+217										
経常費用		2,017	2,090	2,095	2,195	+105	+100										
経常収支		▲98	▲264	▲267	▲150	+114	+117										
経常収支の状況(百万円)		<p>経常収支の状況(百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期</th> <th>実績(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>267</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>						期	実績(見込)	R1	128	R2	98	R3	267	R4	150
期	実績(見込)																
R1	128																
R2	98																
R3	267																
R4	150																

(3) 病院事業全体（経営状況）

業務の状況		R2 (実績)	(A)R3 (当初)	(B)R3 (見込)	(C)R4 (当初)	比較											
						C-A	C-B										
患者数(人)	入院延患者数	202,884	205,308	205,308	199,612	▲5,696	▲5,696										
	病床稼働率	78.3%	77.7%	77.7%	75.5%	▲2.2p	▲2.2p										
	外来延患者数	295,378	296,496	296,496	317,820	+21,324	+21,324										
入院単価(円)		77,689	76,785	76,785	80,701	+3,916	+3,916										
外来単価(円)		22,089	22,378	22,378	23,124	+746	+746										
経常収益		27,109	28,542	28,544	28,151	▲391	▲393										
経常費用		26,507	27,169	27,119	28,107	+938	+988										
経常収支		602	1,373	1,425	44	▲1,329	▲1,381										
経常収支の状況(百万円)		<p>経常収支の状況(百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期</th> <th>実績(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>254</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>602</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,425</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>						期	実績(見込)	R1	254	R2	602	R3	1,425	R4	44
期	実績(見込)																
R1	254																
R2	602																
R3	1,425																
R4	44																

3 財務状況

(1) 比較予定損益計算書

(単位：千円)【税抜】

科 目	R3決算 見込(A)	R4当初 予算(B)	差 引(B-A)
病院事業収益 a	28,490,013	28,108,132	▲ 381,881
医業収益 b	23,027,293	24,069,195	1,041,902
入院収益	15,760,403	16,106,402	345,999
外来収益	6,609,011	7,324,548	715,537
その他	657,879	638,245	▲ 19,634
医業外収益 c	5,432,720	4,008,937	▲ 1,423,783
特別利益 d	30,000	30,000	0
病院事業費用 e	27,093,556	28,086,020	992,464
医業費用 f	25,563,906	26,514,431	950,525
給与費	13,292,498	13,555,925	263,427
材料費	7,424,361	7,829,237	404,876
減価償却費	1,412,350	1,482,932	70,582
その他	3,434,697	3,646,337	211,640
医業外費用 g	1,474,811	1,519,542	44,731
特別損失 h	54,839	52,047	▲ 2,792
当年度純損益(a-e)	1,396,457	22,112	▲ 1,374,345
経常収支(b+c)-(f+g)	1,421,296	44,159	▲ 1,377,137

(2) 予定キャッシュフロー計算書

(単位：千円)【税抜】

科 目	R 3 年度末	R 4 年度末
I 業務活動によるキャッシュフロー		
当年度純損益	1,396,457	22,112
退職給付等（退職給付、賞与、貸倒）引当	45,721	▲ 24,546
減価償却費	1,412,350	1,482,932
固定資産の除却	11,085	28,329
長期前払消費税償却・繰延勘定償却	70,954	82,938
長期前受金戻入収益	▲ 465,892	▲ 550,953
その他（未収金・未払金の増減等）	53,575	916,761
業務活動によるキャッシュフロー	2,524,250	1,957,573
II 投資活動によるキャッシュフロー		
固定資産の取得等	▲ 1,206,320	▲ 1,868,794
その他（一般会計負担金等）	971,685	760,282
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 234,635	▲ 1,108,512
III 財務活動によるキャッシュフロー		
企業債の発行	2,050,100	1,150,500
企業債等（企業債、基金借入金）の償還金	▲ 2,594,560	▲ 2,243,011
一般会計出資金	1,771	1,802
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 542,689	▲ 1,090,709
IV 資金増減額	1,746,926	▲ 241,648
V 資金期首残高	81,148	1,828,074
VI 資金期末残高	1,828,074	1,586,426
フリーキャッシュフロー（営業CF+投資CF）	2,289,615	849,061

(3) 比較予定貸借対照表

(単位：千円)【税抜】

科 目		R 3 年 度 末		R 4 年 度 末		差 引(B-A)
		金 額(A)	構成比率	金 額(B)	構成比率	
資 産 の 部	固定資産	17,134,436	70.9%	16,744,134	73.5%	▲ 390,302
	有形固定資産	16,592,548	68.7%	16,179,545	71.0%	▲ 413,003
	無形, その他の資産	541,888	2.2%	564,589	2.5%	22,701
	流動資産	7,030,894	29.1%	6,047,709	26.5%	▲ 983,185
	現金預金	1,828,074	7.6%	1,586,426	7.0%	▲ 241,648
	未収金, その他	5,202,820	21.5%	4,461,283	19.5%	▲ 741,537
	うち貸倒引当金	▲ 30,136	▲ 0.1%	▲ 30,136	▲ 0.1%	0
資 産 合 計		24,165,330	100.0%	22,791,843	100.0%	▲ 1,373,487
負 債 の 部	固定負債	13,983,370	57.9%	12,911,250	56.7%	▲ 1,072,120
	うち企業債	7,976,093	33.0%	6,903,973	30.3%	▲ 1,072,120
	うち退職給付引当金	5,789,273	24.0%	5,789,273	25.4%	0
	流動負債	7,261,242	30.0%	6,726,632	29.5%	▲ 534,610
	うち企業債	2,243,011	9.3%	2,222,620	9.8%	▲ 20,391
	うち賞与引当金	563,012	2.3%	538,466	2.4%	▲ 24,546
	繰延収益(長期前受金)	2,782,591	11.5%	2,991,920	13.1%	209,329
負 債 合 計		24,027,203	99.4%	22,629,802	99.3%	▲ 1,397,401
資 本 の 部	資本金	29,026,620	120.1%	29,028,422	127.4%	1,802
	自己資本金	29,026,620	120.1%	29,028,422	127.4%	1,802
	うち繰入資本金	28,465,989	117.8%	28,467,791	124.9%	1,802
	剰余金	▲ 28,888,493	▲ 119.5%	▲ 28,866,381	▲ 126.7%	22,112
	資本剰余金	803,949	3.3%	803,949	3.5%	0
	利益剰余金(累積欠損金)	▲ 29,692,442	▲ 122.9%	▲ 29,670,330	▲ 130.2%	22,112
	繰越欠損金年度末残高	▲ 31,088,899	▲ 128.7%	▲ 29,692,442	▲ 130.3%	1,396,457
当年度純損益	1,396,457	5.8%	22,112	0.1%	▲ 1,374,345	
資 本 合 計		138,127	0.6%	162,041	0.7%	23,914
負債・資本 合 計		24,165,330	100.0%	22,791,843	100.0%	▲ 1,373,487